

平成25年度 江南区社会福祉協議会事業計画

基本方針

本格的な超高齢社会を迎え、社会情勢や生活様式が急速に変化する中、個々の複雑化した生活課題や福祉課題が顕在化してきている昨今です。

こうした時期ではありますが、今年度は江南区地域福祉計画・地域福祉活動計画「江南区ふれあい・ささえあいプラン」推進の5年目を迎えるため、本計画の意義や必要性をさらにPRし、また、高齢者等安心見守り事業などを通じて住民主体の小地域福祉活動の展開など、各自治会・町内会、地区社協、コミ協、民生委員児童委員、福祉施設や行政と連携・協働しながら、地域福祉課題の把握、実践、評価をします。

また、対外的には江南区社協の認知度を向上させるため、ホームページなどあらゆる機会を通じて「見える江南区社協」を目指し、特に賛助会費の増強などを通じて社協の理解者・支援者を増やしていきます。

そして、職員の地域担当制を実施しながら、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の視点を持って地域に入り、アウトリーチしながら個別ニーズ・地域ニーズの発掘に努め、各専門職との連携を図りながら課題解決に努めます。そのために、地域アセスメントを実施し、より深く地域の実情を客観的に理解した上で、総合的な相談が受けられるよう環境の整備に努めます。

更には、平成27年度当初の区社協事務所の移転を控えているため、新たに事務所となる建物の設計や間取りなど、関係機関と充分協議し、移転のための準備を進めます。

重点目標及び事業計画

1 地域福祉推進活動事業

○江南区社協の所管区域は、住宅地・商業地・農村等混在した地域として形成されており、地域ごとに様々な特性を持っていることから、地域福祉活動を進めるにおいては、地域の声に耳を傾け、それらの地域らしさが尊重されるように地域福祉組織の活性化を図る。

(1) 地域福祉組織の活性化

- ・地区社協の組織化および小地域福祉活動の活性化支援
- ・地域コミュニティ協議会との連携・協働
- ・地区社協等活動助成金
- ・地域懇談会助成事業
- ・地域ふれあい事業助成（生きがい推進事業、環境整備事業、ふれあい給食事業、世代交流事業）
- ・福祉団体助成

- ・歳末たすけあい事業助成
- (2) 地域福祉活動計画推進事業
 - ・各地区別やテーマ別による実践に向けた座談会等の開催
 - ・江南区ふれあい・ささえあいプラン推進委員会の開催
- (3) 福祉の学び舎事業への企画参加
- (4) おもいやりのひとかき運動

2 見守り・生活支援事業の推進

- 見守り等を通じて、住み慣れた地域で安心して生活できるように積極的に支援・拡充する。
- 地域住民相互によるたすけあい意識を基盤とした地域での交流やふれあい、要支援者の居場所など、誰もが気軽に集まれる機会を積極的に支援する。
- 心配ごと相談所を運営し、相談者の悩みに丁寧に傾聴し、問題の解決あるいは軽減に努める。
- 関係機関・団体等と連携し、支援を必要とする個別課題の把握・相談に努め、必要によりコミュニティソーシャルワーク活動を実践する。
- 高齢者・障がい者等で判断能力が充分でない方に対し、福祉サービス利用の援助をする日常生活支援事業を実施するに当たっては、市社協と生活支援員との連携を通して支援を受ける利用者が、地域の中で自分らしく生活することが出来るように努める。
- 低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯等に対し、種々の資金貸付を行い、民生委員児童委員の協力のもと必要な援助指導を通して、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長を図る。
- 新潟市に避難されている方への生活ニーズ把握に努める。
- その他、要支援者の社会的つながりの再構築等に努める。
- (1) 小地域ネットワーク活動
 - ・地域交流事業（いきいきサロン、地域の茶の間、子育てサロン）
 - ・あったか友愛事業
 - ・安心袋・緊急情報キット配布事業
 - ・おせち料理配食事業
 - ・高齢者等安心見守り事業（補助事業）
- (2) 地域在宅福祉活動への支援
 - ・住民参加型福祉サービス事業（リボンの会）（補助事業）
 - ・在宅福祉活動総合事業（モデル事業）への活動支援
- (3) 心配ごと相談所の運営（補助事業）
 - ・相談員の協力による相談所の運営
 - ・相談員研修の充実強化

- (4) 個別課題への把握、相談体制への充実強化とコミュニティソーシャルワーク活動
 - ・CSW強化事業
- (5) 日常生活自立支援事業の実施
- (6) 生活福祉資金等の貸付・相談事業
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・行旅人旅費貸付事業
 - ・住宅支援給付事業の申請
 - ・ボランティア活動・市民活動への支援と情報提供
 - ・ボランティア連絡協議会への活動支援
- (7) ご近所談義（お亀楽縁）の運営
- (8) 避難者ネットワークの会事業
- (9) 就労ボランティア体験支援事業（受託事業）

3 ボランティア・市民活動事業の推進

- ボランティアニーズに即した講座を企画し、ボランティアの発掘や育成を進めるとともに、啓発に努める。また、公民とも連携を図る。
- ボランティア活動・市民活動の相談支援の役割を担い、活動する側される側双方の意見や情報を積極的に捉え、円滑に活動が進められることに配慮する。
- 災害時や降雪（大雪）時のボランティア活動を想定し、迅速なボランティア活動が行えるようマニュアル（江南区災害ボランティアセンター設置運営マニュアル）を見直し、関係機関や団体等との連携を構築する。
- 学校教育における総合学習をきっかけにして、福祉の分野における学習が進められており、児童・生徒にとどまることなく、地域住民をはじめ、様々な機関・団体と連携しながら、地域全体の福祉教育としてしていくことが望まれ、福祉社会をつくる原動力として育まれることに努める。

- (1) 江南区ボランティアセンターの運営
- (2) ボランティア育成事業（各種講座等）の推進
- (3) ボランティア相談、ニード相談、コーディネート機能の充実
- (4) ボランティア団体・市民活動団体等との連携・連絡調整及び支援
 - ・ボランティア活動に対する保険の加入促進
 - ・ボランティア団体・市民活動団体との連携・連絡調整
 - ・ボランティア活動・市民活動への支援と情報提供
 - ・ボランティア連絡協議会への活動支援
- (5) 災害時や降雪（大雪）時を想定したボランティア活動の啓発

- ・区災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し
 - ・区災害ボランティアセンター設置訓練
- (6) 福祉教育・ボランティア学習への支援
- (7) 福祉用具等の貸し出し

4 広報・啓発活動事業の推進

- 区社協だより、ボランティア情報紙、インターネットを利用したホームページ等により、区民に対しわかりやすい社協情報の伝達に努める。
- 区民福祉大会を新潟市との協働で実施し、社会福祉功労者表彰・地域福祉推進フォーラム等の催事により、区民の福祉意識の高揚に努める。
- 区の一体感の醸成を図るような福祉的交流イベントを関係機関と連携し企画運営する。

(1) 広報活動の推進

- ・区社協だより「こころ」、ボランティア情報紙「きりりん」などによる広報活動の強化
- ・インターネットを利用したホームページの管理運営

(2) 江南区民福祉大会の実施

- ・社会福祉功労者等表彰式
- ・福祉講演会
- ・地域福祉推進フォーラム

(3) 江南区ふれあい・ささえあい交流事業

5 諸福祉活動の推進

- 新潟市老人福祉センター横雲荘の施設管理にあたり、高齢者の生きがい推進活動並びに区民の地域福祉活動の拠点として、施設の使いやすさを考慮しながら、安全であり安心して利用していただけるよう、効率的な運営に努める。
- 各種福祉団体・福祉施設等の企画する会議や事業へ必要により参加協力する。

(1) 新潟市老人福祉センター横雲荘の管理運営（指定管理者）

(2) 福祉バス運行事業（受託事業）

(3) 第63回新潟県民福祉大会への参加

(4) 共同募金事業への協力

(5) 民生委員児童委員協議会への協力

(6) 高齢者地域ケア会議への参加

(7) 江南区自立支援協議会への参加

(8) プレジョブ江南区（チャレンジド就労体験サポートプログラム）への活

動支援

(9) ブックスタート実行委員会への参加

(10) その他、関係機関・団体等との連携、連絡調整

6 組織体制及び財政基盤の強化充実

- 組織体制強化のため理事会・運営検討委員会の実施をはじめ、役職員の研修に努め、活動機能の充実を図る。
- 会員会費及び共同募金の納入率の向上、篤志家及び企業等からの寄付金品の受け入れを積極的に行うなど、自主財源の確保に努め、財源基盤の健全化を図る。
- 区社協事務所の移転を控えているため、関係機関と充分協議しながら準備を進める。

(1) 組織体制の整備

- ・理事会
- ・監査会
- ・運営検討委員会
- ・事務所の移転検討準備
- ・役職員研修の充実
- ・苦情処理解決体制の整備
- ・個人情報保護対策の強化
- ・危機管理体制の整備
- ・コンプライアンス（法令遵守）の徹底

(2) 財政基盤の整備

- ・賛助会員制度の区民向けPRと積極的な取り組み
- ・一般会員会費の納入率の向上
- ・共同募金配分金の確保
- ・篤志家及び企業等からの寄付金品の受け入れ